

一般質問

平成30年度決算に関連して



深田 真史 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 加西病院の資金不足について、どう考えているのか。

答 (代表監査委員) 加西病院の実質赤字の金額を当年度の医業収益の金額で割った資金不足比率は、平成30年度が6.5%で、2.4ポイント悪化しており、早急に財

政状況の改善が望まれます。資金不足は、病院経営に必要な支出である引当金も加味した財政状況で判断するものと考えます。

問 加西病院の建てかえについては財政状況を考えなければならない。新しく病院を建てれば経営がよくなるという保証はない。建てかえ費用は起債や一般会計補助金で対応しなければならず、一般会計に影響が出る。そのリスクをどう考えているのか。

答 (代表監査委員) 病院の建てかえ問題は政治的判断を要

するもので、その可否を言及する立場ではありません。しかし、今の病院の財政状況では、病院独自の財源で必要な支出を賄うことは不可能です。長期的な収支を予測し、不足する資金は一般会計からの支出となるため、その負担も十分に検討し予測した上で、市の財政状況から容認できるものなのか十分に見極める必要があります。

■その他の質問項目

- ・ 播磨看護専門学校と小野市提案の医療系専門学校の誘致について

公務員の義務と責任について



黒田 秀一 議員
(自由民主党・無所属の会)

問 公務員は憲法で全体の奉仕者と定義されているが、その内容は。また、職務専念義務についての考えは。

答 全体の奉仕者とは、国民全体の奉仕者として公共の利益の増進に尽くさなければなら

いという、公職のあり方を示すものです。職務専念義務は、勤務時間及び職務上の注意力全てを職責遂行のために用い、職務に従事しなければならないというものです。

問 職員組合が選挙で特定候補を応援した事例があるが、全体の奉仕者という公職としてどうお考えか。

答 職務の遂行に当たってのことで職員組合の活動とは、全く別のものであると理解しています。職員組合の活動についても、憲法のもと保障されている労働者

としての権利の行使です。

問 このたびの職員の不祥事に対する市の処分と考え方は。

答 職員の不適切な行為については、分限懲戒審査委員会を開き、法律や職員の懲戒処分に関する指針等に基づいて、厳正、適正に対応し、基本的に懲戒処分については速やかに公表しています。当然、管理職の管理監督責任も正し、必要に応じて処分も行います。職務中に職責を全うしない行為についても戒めなければならないものと認識しています。

鵜野飛行場跡地整備関係について



原田 久夫 議員
(21政会・加西とも保育会)

問 鵜野飛行場跡地への来場者について。

答 6月の紫電改レプリカ一般公開以降は毎月第1、3日曜に公開し、8月末で来場者1万1,900人、1日平均約1,700人です。他に鵜野平和祈念の碑苑保存会や

歴史街道ボランティアガイドの案内で約500人を受け入れています。多くが市外の方で、約16%は県外から、関西圏を中心に幅広い地域から来られています。

問 地域活性化拠点施設の整備計画について。

答 令和2～3年度に工事、令和4年春の完成に向けて進めています。拠点施設の延べ床面積は約1,200平米、イベントスペースや観光案内所、紫電改レプリカの展示等を計画し、また、飲食物販のスペースで地域の消費拡大に

向けた活用を検討しています。

問 市道中野家塚線の整備について。

答 歩行者の安全な通行帯確保のため、路肩整備やグリーンベルト設置による通学路明示、また、防犯灯設置については関係部署と調整し計画していきます。

■その他の質問項目

- ・ 鵜野飛行場滑走路の整備関係について
- ・ 防災倉庫関係について